



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2022.3.8 No.42

山梨支部管内営業職場より

22 春闘

私たちが求めている賃金要求の根拠だ！

「定期昇給の昇給係数4に戻し、物価上昇分のベースアップを現状より下回らないこと。明るい未来が少しでも見える回答を求める。」

「物価上昇で生活が厳しくなっている。しっかり賃金に反映するべきだ。効率化重視、超勤ありきの仕事では豊かな生活はおくれない。」

「多くの物価上昇で生活に影響が出ている。それに合わせてベースアップしてほしい。」

「いい加減コロナ禍の中で奮闘している社員に対して返すべき。」

「物価のみが上昇し、私たちの賃金には反映されない現状に不安が募るばかりだ。感染症と向き合い、防止に務めている私たちに会社はしっかりと回答するべき。」

「ジョブローテーションで必要以上に社員を異動させ、それによる新たな仕事を覚えるための教育見習い期間が増え、育つまでに休日出勤や超勤が絶えず繰り返している実態がある。」

「企画業務のために超勤が発生しているが、超勤してまでの企画業務は果たして費用対効果に見合っているのか？こうした無駄な人件費を増やし、社員の負担を増やしているにも関わらず、定期昇給、ボーナスを下げ、社員・家族の幸福を会社が実現しようとしているとは到底言えない。」

「生活必需品の物価上昇分に加え、コロナ対策のためのマスクやアルコール消毒液の購入費用が発生している。これらの費用に対して、定期昇給やボーナスカットは明らかに私たちの賃金に反映されていない。定期昇給の昇給係数4に戻し、物価上昇に応じたベースアップの回答を求める。」

会社はこれらの声に対し、

どのように応えますか？

